

盛土規制法に基づく基礎調査(既存盛土等分布調査・安全性把握調査の優先度評価)

積算基準

1. 適用範囲

この積算基準は、盛土規制法に基づく基礎調査（既存盛土等分布調査・安全性把握調査の優先度評価）の積算に適用する。

（※）既存盛土等とは、既に造成された盛土等のことで、宅地造成等工事規制区域、特定盛土等規制区域内に存在し、規制対象のもの。（規制対象の盛土のうち、概ね 1990 年代以降に造成された、面積が 2,000 m²以上の盛土を調査対象としている。）

2. 業務内容

2-1 計画準備

受注者は、本業務の実施にあたり業務の目的・主旨を把握したうえで業務内容を確認し、設計業務等共通仕様書（広島県）に定める業務計画書を作成して調査職員に提出する。

2-2 既存盛土等分布調査

2-2-1 一覧表作成

調査対象となる既存盛土等の各箇所について、過年度成果等の DEM データや許認可書類を用い、諸元（土地の所在地、面積、地盤勾配、高さ、土量、造成年度等）を整理し、「安全性把握調査の優先度評価一覧表」（以下、「一覧表」という。）に取りまとめる。なお、一覧表は 2-6 安全性把握調査の優先度評価の段階で判明する内容も含むため、安全性把握調査の優先度評価と合わせて完成させるものとする。

（参考）

・ 安全性把握調査の優先度評価一覧表作成イメージ（表 1）

2-2-2 位置図作成

対象となる既存盛土等の各箇所について、緯度経度による「位置図」を作成する。

2-3 事前確認シート作成

2-5 現地踏査を効率的に実施することを目的として、造成前後の地形情報等から重点確認箇所等を取りまとめた各箇所の「事前確認シート」を作成する。

(参考)

- ・事前確認シート様式作成イメージ（図1～図3）

2-4 既存盛土等カルテ作成

各箇所の「既存盛土等カルテ」を作成する。なお、既存盛土等カルテは2-6 安全性把握調査の優先度評価の段階で判明する内容も含むため、安全性把握調査の優先度評価と合わせて完成させるものとする。

(参考)

- ・既存盛土等カルテ（概要・総評）様式作成イメージ（図4）
- ・既存盛土等カルテ（既存盛土等分布調査）様式作成イメージ（図5）

2-5 現地確認

現地確認は、2-5-1～2-5-3 について一度に行うことを見込んでいる。なお、現地確認は目視を基本とするが、公道等からの現地確認や土地の立入りが困難な箇所については、調査職員と協議の上、土地の立入り手順や状況確認方法を決定する。

2-5-1 既存盛土等の確認

現地確認を行い、既存盛土等に該当するか確認する。

2-5-2 応急対策の必要性判断

現地確認等により、盛土に対し応急対策の必要性を判断する。盛土が既に崩壊が発生又は崩壊し始めている場合は、応急対策が必要な盛土と判断し、調査職員に速やかに報告するとともに、応急対策の実施対象として取りまとめる。

2-5-3 既存盛土等の状況の確認

現地確認等により、以下の項目について確認する。

- (1) 盛土、切土及び擁壁の変状の有無
- (2) 湧水等の有無
- (3) 災害防止措置が不十分か
- (4) 盛土下の不安定な土層の有無

2-6 安全性把握調査の優先度評価

法令許可等状況調査結果や 2-5 現地踏査結果、2-6-1 盛土のタイプに応じた保全対象との離隔等により、各箇所について、安全性把握調査が必要なもの、経過観察を行うもの等に分類する。なお、応急対策が必要と判断された盛土は、安全性把握調査が必要なものに分類する。

2-6-1 盛土タイプ等分類及び保全対象との離隔確認

各箇所について以下の盛土等のタイプに分類した上で、地形図等により保全対象との離隔が十分確保されているかを確認する。

- ① 谷埋め盛土
- ② 腹付け盛土
- ③ 平地盛土
- ④ 切土
- ⑤ 土石の堆積

なお、保全対象との離隔は、断面図を作成し、崩壊土砂の移動方向、被害想定範囲を設定し、確認するものとする。断面図は、申請書類等の活用、または、最新の DEM データ等により作成することとする。

2-6-2 優先度評価

2-6-1の結果等により、図9の優先度評価フローに従い優先度評価を実施し、評価結果を一覧表及び既存盛土等カルテに取りまとめる。なお、フローの判定基準等については、調査職員と協議の上で決定する。

(参考)

- ・ 優先度評価フロー（図9）
- ・ 既存盛土等カルテ（安全性把握調査の優先度評価）様式イメージ（図6～図8）
- ・ 安全性把握調査の優先度評価一覧表作成イメージ（表1）

2-7 報告書作成

本業務で実施した内容について、本業務で検討した経緯も含めて取りまとめ、報告書を作成する。

2-8 打合せ協議

業務における打合せは着手時、中間打合せ2回、成果品納品前の計4回を見込んでいる。

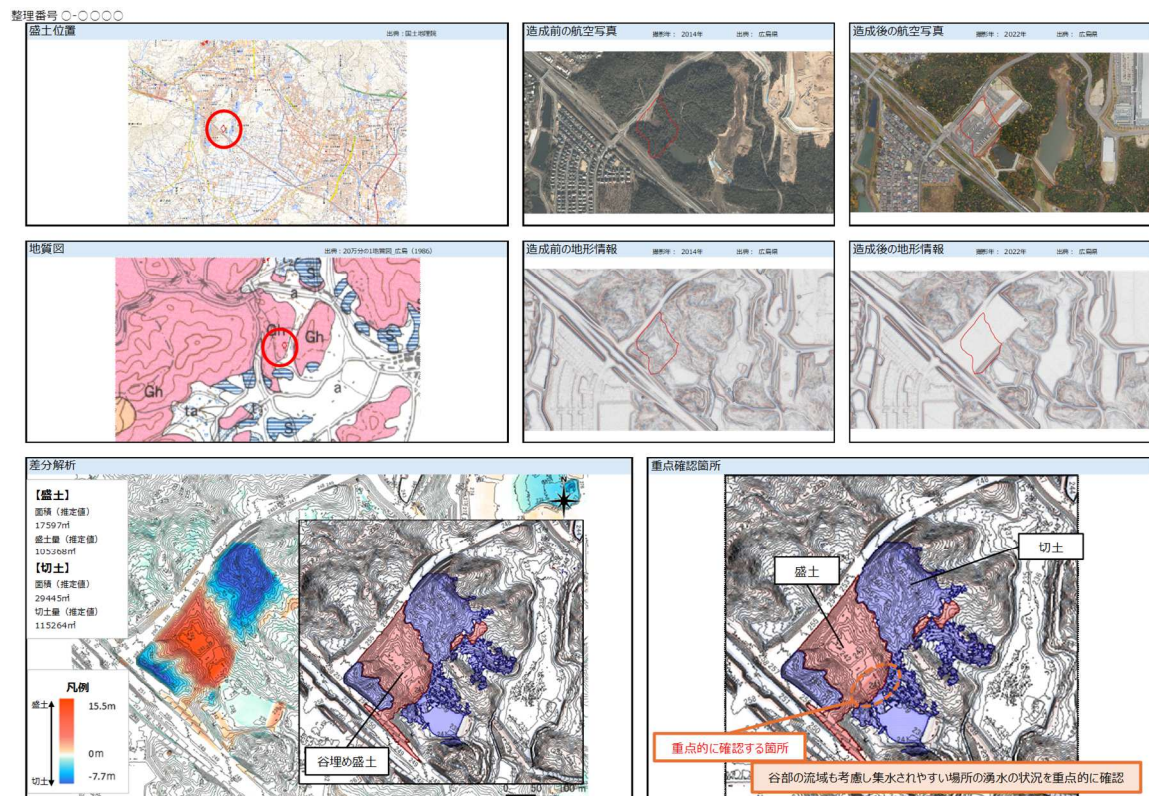


図1 事前確認シート様式作成イメージ1

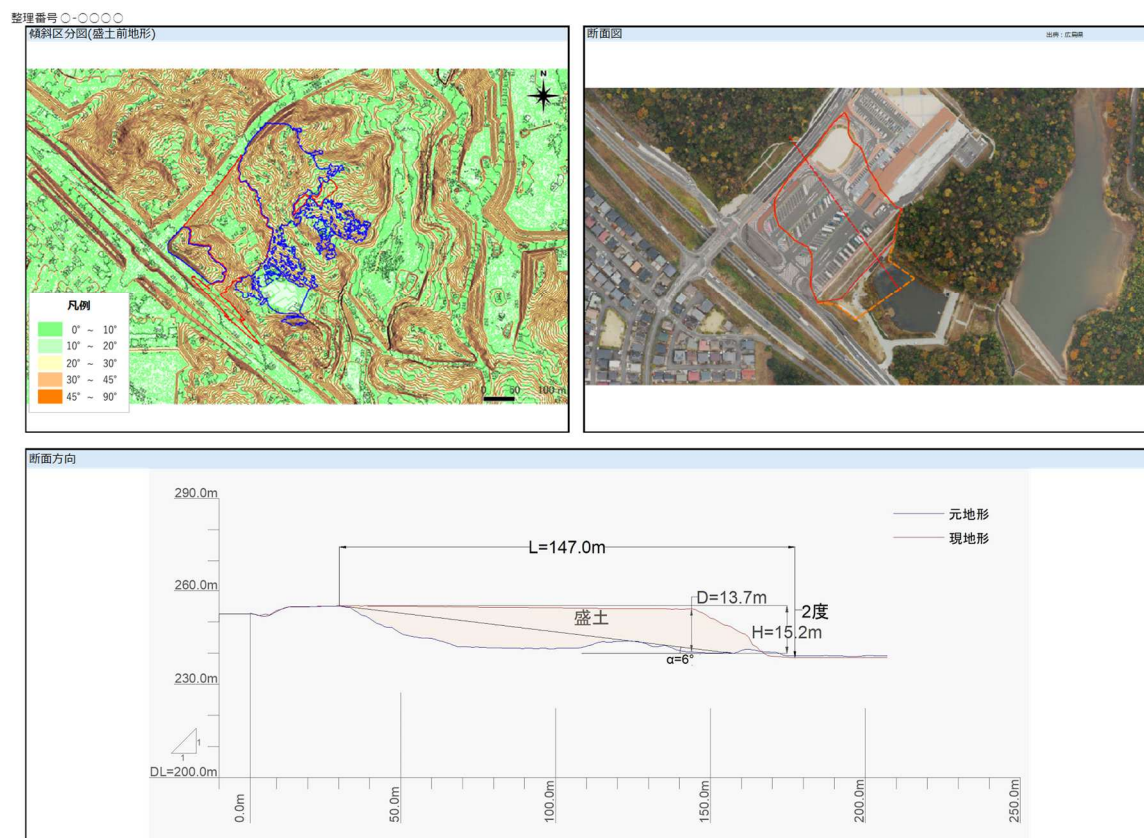


図2 事前確認シート様式作成イメージ2



図3 事前確認シート様式作成イメージ3

既存盛土等カルテ(安全性把握調査の優先度評価(3))				O-○○○○	様式3-2
写真1	写真2	写真3	写真4		
写真5	写真6	写真7	写真8		
写真9	写真10	写真11	写真12		
写真13	写真14	写真15	写真16		

図8 既存盛土等カルテ(安全性把握調査の優先度評価3)様式イメージ

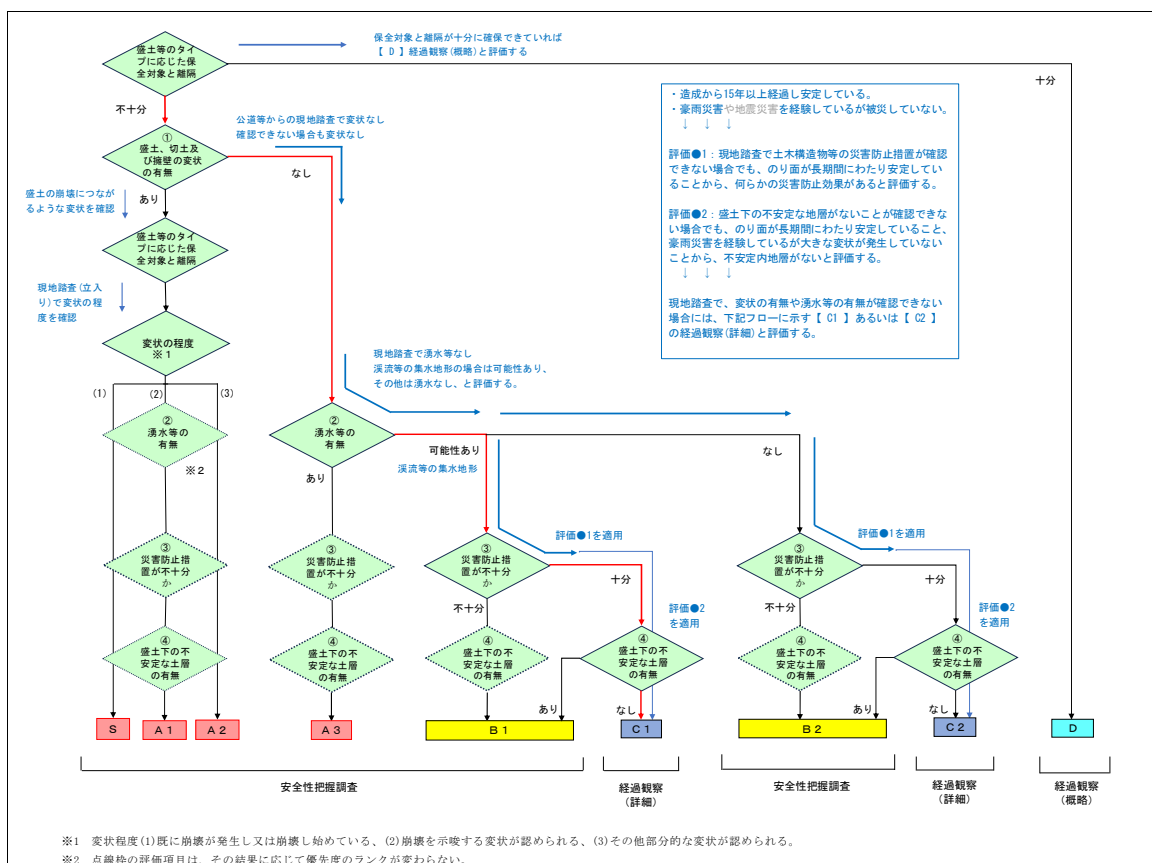


図9 優先度評価フロー

表 1 安全性把握調査の優先度評価一覧表作成イメージ

整理 番号	カルテ 整理 番号	既存盛土等分布調査												応急対策の 必要性判断	安全性把握調査の優先度評価		
		土地の所在地		座標(10進法)		造成年代	盛土等の タイプ	盛土等の 面積(m2)	盛土等の 高さ(m)	盛土等の 土量(m3)	原地盤 勾配 (°)	土地の 利用状況	周辺の 保全対象		法令許可等 の状況 許可届出 情報	優先度 区分	優先度 評価
		市町	詳細	緯度	経度												
1	0-0000	〇〇郡〇〇町	〇〇	34.8116667	134.3333333	2019年以降	覆付け	8000	10	4000	20	森林	施設等(道)	無	—	C1	経過観察
2	1-1111	□□市	□□町□◆丁	34.9082778	134.1111111	1989年以降	谷埋め	1500	2	2000	不明	駐車場	なし	無	盛土規制法	C2	経過観察
3	2-2222	●●市	●●町●●	34.9292778	135.2222222	2009年	土石の堆積	1000	3	1000	25	宅地	住宅	無	森林法	D	経過観察
	・																
	・																

3. 業務歩掛

本業務は、「土木設計業務等標準積算基準書(広島県)」の土木設計業務等積算基準に準ずるものとし、各業務の歩掛は次のとおりとする。

3-1 計画準備

(1式当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
計画準備	0.5	0.5	0.5	—	—

3-2 一覧表作成

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
一覧表作成	—	—	—	0.04	0.04

3-3 位置図作成

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
位置図作成	—	—	0.03	0.04	—

3-4 事前確認シート作成

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
事前確認シート作成	—	—	—	0.05	0.1

3-5 既存盛土等カルテ作成

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
既存盛土等カルテ作成	—	—	0.05	0.06	0.01

3-6 既存盛土等の確認

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
盛土の確認	—	0.01	0.05	0.05	—

3-7 応急対策の必要性判断

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
応急対策の必要性判断	—	0.05	—	0.05	—

3-8 既存盛土等の状況の確認

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
盛土の状況の確認	—	—	0.15	0.15	0.15

3-9 盛土タイプ等分類及び保全対象との離隔確認

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
盛土タイプ等分類及び 保全対象との離隔確認	—	0.08	0.16	0.16	—

3-10 優先度評価

(1箇所当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
優先度評価	0.05	0.1	0.1	0.05	—

3-11 報告書作成

(1式当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
報告書作成	0.5	0.5	1.0	1.0	—

3-12 打合せ

(1業務当り)

項目 \ 職種	直接人件費				
	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員
業務着手時	0.5	0.5	0.5	—	—
中間打合せ (2回)	1.0	1.0	1.0	—	—
成果品納入時	0.5	0.5	0.5	—	—